

世代や国籍を超えて スポーツ交流

9月4日(日)、大崎町総合体育館において、「みんなで楽しく！イージーゲートボール交流会」が開催されました。

このイベントは、筑波大学体育系の松元剛准教授の研究室が主催し、6月から大崎町役場でインターンシップ(職業体験)をしている森元直施なおしさん(同研究室所属)が企画・準備したものです。

イージーゲートボールはゲートボールのルールを易しく修正したもので、当日は、園児から大人まで幅広い世代の町民や町内に住む技能実習生が約40名参加し、スポーツを通して交流しました。

優勝したフィリピン出身の特定技能実習生は「みんなと交流しながらゲームができてとても楽しかったです」と話されました。



遊びの学校でたくさんの 思い出ができました

8月25日(木)、特定非営利活動法人NPOわんぱーくが実施する「遊びの学校」の閉校式がおこなわれました。

これは大崎小学校などを使用し夏休み期間中、さまざまな体験活動をとおして児童の健全育成を図ることを目的に実施しています。

7月25日に開講し、学習活動やレクリエーション、自然体験、プール遊びなど幅広い体験活動がおこなわれ、今年は72名が参加しました。

大崎小学校5年の木村柚希ゆずきさんは「とても楽しかったです。夏休みの思い出になりました」と話してくれました。



電友会の皆さんが ボランティアで伐採作業

8月24日(水)、大崎町電友会の皆さんによる高木剪定・伐採のボランティアが大丸小学校で実施されました。

【大崎町電友会の皆さん】

- ・有限会社 南九州マーケティング
- ・有限会社 鳥越電設
- ・山基工業
- ・有限会社 大野電設工業
- ・有限会社 別府電気工事



毎年ボランティアで町内の小学校の剪定・伐採を実施していただき、心から感謝いたします。ありがとうございました。